

未来に残したい なりた景観資産 ②

豊かな自然、歴史ある寺社や街並み、国際空港など、多様な景色・眺め(景観)が楽しめる成田市。市では「成田らしさを感じられ、良好な景観を望める場所」を市民共有の宝物として保全・活用しようと、「なりた景観資産」として登録しています。ここでは、市民の皆さんから推薦され登録された、景観資産の数々を紹介します。



三橋薬局(左)や大野屋旅館(右奥)などが立ち並ぶ参道

「成田山新勝寺と表参道の街並み」

薬師堂から成田山新勝寺総門へ続く坂道の景観です。元禄16(1703)年、新勝寺の江戸出開帳により、江戸の庶民が成田を訪れるようになったことがきっかけで、それまで農村地帯だったこの集落は、旅館や飲食店が立ち並ぶ門前町となりました。

平成8年度から現在まで、地域住民の協力を得て、電線類地中化事業や伝統的建築物等修景整備事業が行われてきました。この結果、国指定登録有形文化財の大野屋旅館や三橋薬局に代表される昔ながらの建築物や街並みが保全されています。皆さんも新勝寺とのつながりを感じながら歩いてみませんか。

成田祇園祭では見どころの一つに



JR成田駅東口・京成成田駅中央口より徒歩10分。
または京成成田駅中央口より千葉交通バス「薬師堂」下車

市では、なりた景観資産にふさわしい場所を募集しています。誰もが安全に立ち入ることができ、素晴らしい景観を望める場所がありましたら、ぜひ推薦してください。くわしくは都市計画課(☎20-1560)へ。

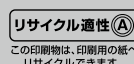
編集後記

スーパーの野菜売り場には、菜の花やフキノトウなど春の訪れを感じる野菜が並び始めました。冬の寒さに耐えて育つ春野菜は、成長に必要な養分や害虫などから身を守るための成分をため込むので栄養豊富。春野菜特有の苦みは、体に刺激を与えて身体機能を活性化させる働きがあるそうです。ハウス栽培などで1年中豊富な種類の野菜が手に入りますが、旬を意識した献立で植物のパワーを体に入れ、元気に過ごしたいですね。

平成28年2月15日号 No.1309

成田市のホームページ

<http://www.city.narita.chiba.jp>



広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。